

「離脱シナリオを睨んだ人事・法務・財務の実務と対策」プログラム

1日目 - 10月14日 (金)

時間	概要	スピーカー
14:30 - 15:00 (30分)	受付	
15:00 - 15:05 (5分)	1. ご挨拶と紹介	松浦 博司 公使 (大使館)
15:05 - 15:35 (30分)	2. 欧州連合の背景 <ul style="list-style-type: none"> 欧州連合に関する歴史的振り返りと今回の国民投票までの経緯 現欧州連合の体制概観 	池田 良一 (PwC)
15:35 - 15:45 (10分)	3. セミナーを始めるにあたり <ul style="list-style-type: none"> 想定されるEU離脱シナリオ 本セミナーにおいて想定する日系企業 	濱之上 昌二 (PwC)
15:45 - 16:45 (60分)	4. 人財-現在と将来における労働力の維持・獲得に与える影響 <ol style="list-style-type: none"> 熟練労働者層と単純労働者層へのEU離脱の影響 各企業におけるEU労働者へのサポートの実務的取組 - 英国でのEU市民登録や、英国永住権・市民権申請のサポート 離脱に先駆け施行が想定される英国移民法上の変更 人事における雇用主が考慮すべき事項、取組 従業員に対するコミュニケーションのベストプラクティス 質疑応答 (約15分) 	Julia Onslow-Cole (PwC)、 福田 有紀子 (PwC)
16:45-17:00 (15分)	コーヒーブレイク	
17:00 - 17:15 (15分)	5. 契約実務 <ol style="list-style-type: none"> EU離脱が契約に与える影響 企業が検討すべき契約上の課題 EU離脱がもたらす契約上の不確実性 (既存・将来の契約) に対処するための実務的な手続き 	Juan Crosby (PwC)
17:15 - 17:40 (25分)	6. EU一般情報保護規則 ("GDPR") とデータセンターに関する考察 <ol style="list-style-type: none"> GDPR とは何か? EU 離脱が英国のデータ保護政策に与える影響-GDPR の適用は継続するのか? 英国との通商における GDPR の意義は何か? GDPR 遵守に向けた企業の対策-GDPR コンプライアンスプログラムの具体例 	James Drury-Smith (PwC)

	<p>5) 英国と EU 加盟国間のデータの移動に対する潜在的な影響、およびデータセンターのロケーションについての検討</p> <p>6) この分野における欧州・英国企業の取組</p>	
<p>17:40 – 18:00 (20分)</p>	<p>7. まとめ、Q&A</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日のまとめ 質疑応答 セミナー2日目の予告 	濱之上 昌二 (PwC)
<p>18:00-19:30 (90分)</p>	ネットワーキングレセプション	

2日目 – 10月18日 (火)

時間	概要	スピーカー
<p>14:30 – 15:00 (30分)</p>	受付	
<p>15:00 – 15:10 (10分)</p>	<p>1. ご挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> 想定されるEU離脱シナリオ 本セミナーにおいて想定する日系企業 	松浦 博司 公使 (大使館)、 濱之上 昌二 (PwC)
<p>15:10 – 16:10 (60分)</p>	<p>2. 税務</p> <p>法人税 (15分)</p> <ol style="list-style-type: none"> 英国・EU加盟国間における利子・ロイヤルティーに関する源泉税の取扱への影響 英国・EU加盟国間の配当に関する源泉税の取扱への影響 EU離脱によるBEPSへの取組への影響 その他法人税制度への影響 (法人税率の引き下げ、合併租税指令、国家補助規制制度) 企業が今取るべき実務的取組 <p>間接税 (30分)</p> <ol style="list-style-type: none"> EU離脱によるVAT及び関税の潜在的な影響 ケーススタディーを用いた、影響の解説 企業が今取るべき実務的取組 <p>質疑応答(約15分)</p>	高木 陽一 (PwC) 塩田 英樹 (PwC)、 Matthew Clark (PwC)
<p>16:10 – 16:25 (15分)</p>	コーヒーブレイク	
<p>16:25 – 16:55 (30分)</p>	<p>3. 知的財産 (IP) (15分)</p> <ol style="list-style-type: none"> EU 離脱における想定シナリオが知的財産権 (例: 商標、EU 意匠権、データベース権) に及ぼす影響 	Latika Sharma (PwC)

	2) 将来の変化に備えて、企業が今取るべき実務的取組 質疑応答 (約 15 分)	
16:55 – 17:05 (10 分)	4. 金融サービス • 欧州単一パスポート制度	Andrew Gray (PwC)
17:05 – 17:50 (45 分)	5. パネル・ディスカッション：欧州統括機能への影響 EU離脱による不確実性と複数の対応シナリオがある状況において、 企業はどのような準備をしておくべきか？ －欧州統括機能の拠点戦略 －意思決定に必要な現状評価 －企業が今取るべき実務的取組	ファシリテーター： 濱之上 昌二 (PwC) パネリスト (PwC)： Mohi Khan (拠点戦略) Andrew Gray (財産管理) Nick Woodford (税務) John Amberton (企業法務) Ben Wilkins (組織・人事管理)
17:50 – 18:05 (15 分)	6. まとめ、最終 Q&A	濱之上 昌二 (PwC)
18:05 – 18:10 (5 分)	7. 閉会の挨拶	松浦 博司 公使 (大使館)
18:10-19:30 (80 分)	ネットワーキングレセプション	